

## ○ワシントン体制

### パリ講和会議

【】開催(1919年)・・・第一次世界大戦の講和会議  
・日本全権   
・アメリカ大統領【】の「の平和原則」を講和の礎とする。  
秘密外交の禁止・海洋の自由・軍備縮小・《》・国際平和機関の設立など  
・【】調印

・【】設立(1920年)・・・  
《》が常任理事国、ソ・独(のち常任理事国)【】は不参加

【】の確立(ドイツの抑圧を目指す国際的体制)

中国・朝鮮における民族運動

朝鮮→【】(  《》 )

中国→【】・・・反日民族運動

### ワシントン会議と強調外交

【】開催(1921年)・・・《》の停止させる海軍軍縮と極東・太平洋問題を協議

・日本全権  (海相)  (駐米大使) 徳川家達(貴族院議長)

・アメリカ大統領《》の提唱

【】締結(1921年)・・・【】

・太平洋諸島の現状維持 《》廃棄

【】・・・【】

・主力艦保有率・・・米《》: 英《》: 日《》: 仏《》: 伊《》(対米英比6割)

・今後10年間、主力艦の建造禁止→《》計画の挫折

【】締結(1922年)・・・【】

・中国の領土保全・門戸開放、《》廃棄

・山東省の旧ドイツ権益の中国返還

【】の確立(日本の勢力拡大を抑え、東アジア・太平洋地域の安定を目指す国際秩序)

【】の推進・・・外相【】(  )

・正義と平和を基調とする「世界の大勢」に歩調を合わせる

・中国に対する内政不干涉主義、しかし経済面では非妥協的 →

### 陸軍の軍縮

↓山梨軍縮(1922年)→

↓【】(1925年)

兵員93000人の削減と兵器の近代化を実現